

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまはうす		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 3月 1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 特に強度行動障害の状態にある方や、行動上の問題が目立つ利用者への支援 自閉症のお子さんに対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 氷山モデルを整理する中で、自閉症の特性や学習スタイルをいっしょに検討するようにしている(その場の対処的な話ばかりにならないように工夫をして伝えている) 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修に関係機関もお呼びし、一緒に学ぶことができるようにしていく
2	<ul style="list-style-type: none"> 法人として、以前から町内の関係機関との連携を密に行ってきたり、また保護者でもあり、スタッフでもあるという立場も活かし、それぞれの視点から対応することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ただし、個人情報に関する部分はかなり気を使って対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの立場を活かし、“専門的な立場の人から教えを乞う”というような関係性ではなく、それぞれ強みを生かし、それをうまく連動させていくことができるような・チーム作りに近いような関わり方ができるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 身体的な介助であったり、専門的な療育(例えば作業療法や言語療法)に長けた、専門的な資格を持つ職員が対応できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉業界全体的な人材不足もあり、そもそも求人を出しても専門職の採用に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たち事業所だけで対応するのではなく、専門職が在籍している事業所とも連携をしていくなど、上記にも記載したようなチーム作りをしていきたい。
2			
3			